

海燕

う み つ ば め

No.46 2010.7.23

編集 石心会グループ

発行人：石井 暎禧 編集長：辻田 征男 副編集長：高本 哲男

〒212-0013 川崎市幸区堀川町 580 ソリッドスクエア東館 4 階

TEL.044-511-2266 (代) FAX.044-540-1135 <http://www.sekisinkai.or.jp>

新「川崎幸病院」の課題

～救急について考える～ その①

理事長 石井 暎禧 (川崎幸病院長)

ここ数年、医療崩壊とか病院崩壊ということばが、マスコミで盛んに使われています。その実質は小児や産科をふくむ救急医療体制の危機です。

しかも救急を引き受ける病院がなかなか決まらない地域は、病院が多くあるはずの首都圏・大阪などの都市部だという意外な事実があります。救急車が患者の元へ到着してから病院に運ばれるまでに30分以上かかる割合でみると、川崎市は19ある政令指定都市で一番多く、3年連続ワースト1という不名誉な事態になり、川崎市議会でも問題になっています。実は川崎幸病院が創立された時代にも、「救急たらい回し」は社会問題でした。当時と比べ、医師も看護師も増え、病院やベッドも増えているのになぜ今問題になるのでしょうか、療養病床が足りないから、転院できず、救急入院させられないなど、いろいろ理由が言われていますが、これは言いわけにすぎないでしょう。真の原因は、現代の患者さんが満足する救急医療を行う体制にある病院が少ないということにつきます。川崎の直近3年間の推移を見ても、毎年救急車の受け入れが増えているのはほんの数病院であとの病院は減っているのです。救急医療ができる病院では、救急患者が増え、これ以上受け入れられないという状況ですし、質の高い救急医療を出来ない病院は、救急医療から撤退しつつあるというのが実態です。平成21年度の市内の消防署の救急車の受け入れをみると、川崎幸病院は市立川崎病院、市立多摩病院に次いで多い台数を引き受けています。それでも、初療を終え、入院ベッドがないため、そのまま他院へ転送する患者さんが多くいます。新病院の課題は、一層多くの救急を受け入れる体制の整備とより多くの入院ベッドの確保です。

◆平成21年度 川崎市消防局調 救急車受け入れ数上位病院

	受け入れ台数	許可病床数	100床あたり台数
市立川崎病院	7011	683	1027
市立多摩病院	4239	376	1127
川崎幸病院	4013	203	1977
関東労災病院	3674	610	602
聖マリアンナ本院	3211	12008	1208
帝京溝の口病院	2801	400	700
日医大小杉病院	2795	372	751
麻生病院	2165	199	1088

本誌タイトル『海燕』は、M.ゴーリキーの散文集『海燕の歌』(1901)に由来しています。その大意は以下のとおりであり、石心会のイノベーションマインドの象徴として採用しました。

……暗鬱な雲がたれこめ、雷鳴が轟く空と海、戸惑い騒ぐばかりの鵬らの群れを尻目に、
海燕は激しく飛び交い、暗雲と雷鳴を切り裂いて一直線に飛翔する。



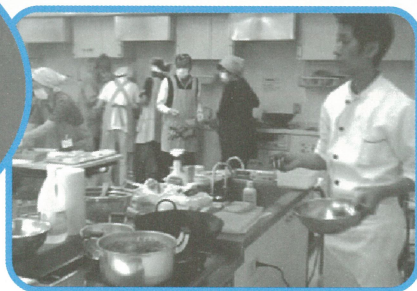
透析食を簡単に、楽しく作って美味しく食べる (昭島腎クリニック)

昭島腎クリニック 事務課長 斎藤 まさ子

昭島腎クリニックでは平成22年5月23日(日)10:30～13:30昭島市公民館調理実習室において「透析食を簡単に、楽しく作って美味しく食べる」をテーマに透析食の調理実習を行いました。透析食というと、塩分やたんぱく質などに制限があるというイメージや作るのが面倒などと思われがちですが、透析患者さんのご家庭の冷蔵庫にある食材を利用して簡単に出来る透析食を調理実習によって「透析食はそんなに難しくない!」「減塩でもおいしい!」など、調理のポイントをつかみ食事を簡単に作る喜びを感じていただきたいという願いで企画しました。



参加した透析患者さんは17名、ご家族4名の21名で、栗本院長もエプロン姿で調理実習に参加しました。



Menu

- *豆腐のドライカレー
- *季節の温野菜のサラダとフライ盛り合わせ
- *蕨のお浸し
- *手作りヨーグルトいちじくソース添え
(朝取れ自家製ミント添え)

【栄養価】

*エネルギー 797kcal. *蛋白質 19.6g
*カリウム 767mg *リン 321mg *塩分 2.0g



メニューおよび調理のポイントは、透析食は高カロリー、低蛋白を基本に豆腐のドライカレーではひき肉を使わずに木綿豆腐を使用し、タンパク質摂取量を約3分の1程度に減らしました。また、カレー粉を使用し、カレールーを減らすことで塩分量を約半分に抑え、季節の温野菜のサラダとフライ盛り合わせでは温野菜にすることでカリウムを減らし、フライは油で揚げるためエネルギーのUPになりました。蕨のお浸しは旬の蕨を使い季節感を演出し、手作りヨーグルトは、昭島腎クリニックで毎日作られているケフィアヨーグルトを使用しました。ヨーグルトに期待される大きな効果としては便秘の解消があげられ、また、ソースに使用したいちじくには整腸作用があります。自家栽培のミントは鎮静作用、リフレッシュ効果などが挙げられます。



今回、調理実習は大盛況でした。調理の段階で、透析患者の皆さんは料理人に徹し、どの顔を拝見しても生き生きと、嬉しそうで、そして、とっても元気なのです。普段の透析室でのお顔とはまるで別人のようでした。包丁を持つ真剣な眼差し、料理が出来上がった時の喜びの笑顔、お互いに声を掛け合い、励ましあい、料理を楽しんでいるのです。今回の調理実習を通して患者さん同士の良いコミュニケーションや、料理が出来上がった時の達成感から連帯感が生まれたようにも思いました。調理実習終了後、透析患者さんから「野菜はゆでこぼしてから調理すること、分量を計測することなど料理の基本を学ぶことが出来た」「専門家のきめ細やかなアドバイスにより素晴らしい料理が出来た。参考になった」「念願だった。また実施して欲しい」など多数の意見が寄せられました。

栗本院長からは「透析食の調理実習は以前から行いたいと思っていました。慢性腎不全の治療は良い透析を行うこと、薬の服用をきちんとすること、食事を美味しく頂くことです。今回、透析患者さんと一緒に料理の楽しさを和気藹々と調理実習をとおして行うことが出来たことは、とても意義のあることと思います。」

昭島腎クリニックは今後も「医食同源」の考えに基づき「美味しい透析食」の追求を継続し、元気な透析患者さんが沢山増えることを心から願い、さまざまな透析食の問題点に取り組み努力して参ります。



念願の7:1看護体制スタート 川崎幸病院 7月1日より

川崎幸病院 看護部長 佐藤 久美子

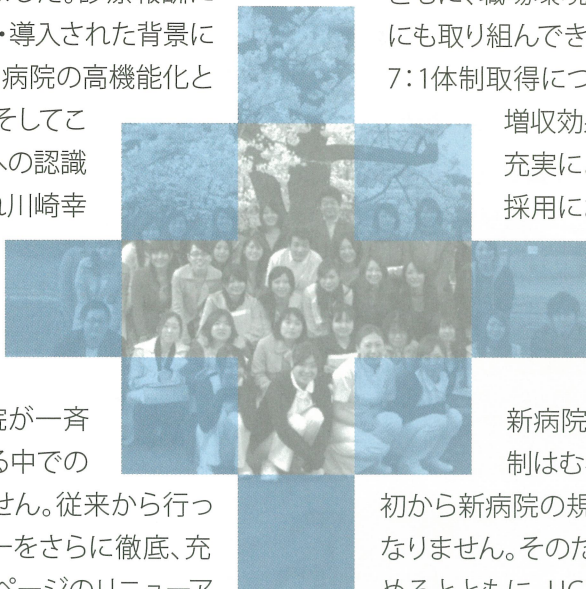
7月1日、川崎幸病院では従来からの目標であり念願でもあった一般病棟における看護師配置7:1体制(7:1入院基本料)が稼働しました。診療報酬において入院基本料7:1が新設・導入された背景には、医療の高度化に伴う急性期病院の高機能化と患者の重症化・複雑化の進展、そしてこれを支える看護体制の重要性への認識があります。この点で、われわれ川崎幸病院のような高度急性期医療を実践している医療機関では、7:1体制の確立が急務でした。

とはいえ、全国の急性期病院が一斉に看護師の確保に奔走している中での看護師確保は容易ではありません。従来から行ってきた学校訪問や復職セミナーをさらに徹底、充実させるとともに、病院ホームページのリニューアル、特に看護部については教育研修プログラムの紹介やスタッフの声など、看護師確保につながる情報の

ボリュームアップを図りました。また、いわゆる潜在看護師を活用するための柔軟な勤務形態を考案・導入するとともに、職場環境の改善などによる離職率の低下にも取り組んできました。

7:1体制取得については入院基本料アップによる増収効果があるだけでなく、看護体制の充実によって定着率が向上する、看護師採用における大きなアピールポイントになる、などの効果も見逃せません。

川崎幸病院は1年半後の2012年春、さらに機能を拡充した新病院としてオープンしますが、診療体制はむろんのこと看護体制もスタート当初から新病院の規模と機能に対応していなければなりません。そのため、目下、さらなる人員確保に努めるとともに、HCU増床、手術・放射線領域の看護師確保、認定看護師の育成と質の向上を進め、新病院のオープン時からのフル稼働を目指しています。

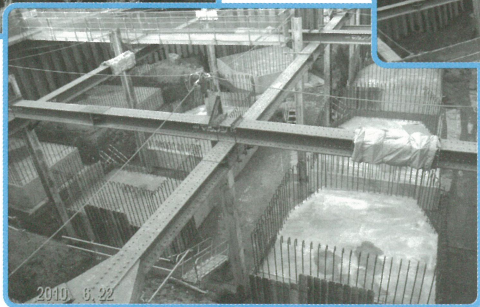


川崎幸病院新築移転計画 工事進捗状況 (2010年7月1日現在)

建物の「基礎」が終了すると、「免震装置」の設置工事が始まります。



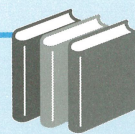
地下免震層をつくるための掘削工事



建物基礎のコンクリート打設工事



工事現場全体風景



読書のすすめ

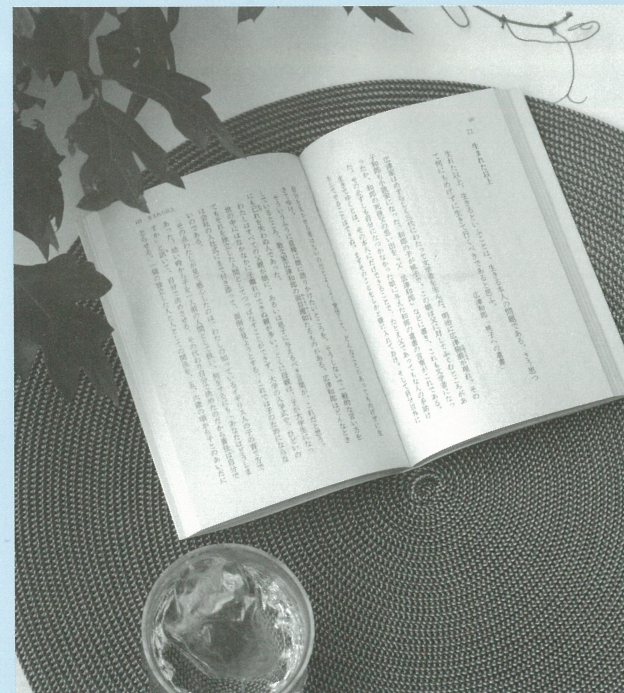
『人生の実りの言葉』

本を読むという行為が楽しいのは、精神に栄養を与えてくれるからだ。中野孝次「人生の実りの言葉」はその中でも特に栄養価の高いアンソロジー*である。

川崎幸病院 副院長 大動脈センター長
山本 晋

◆ 大動脈オタク(?)の僕だって、毎日毎日大動脈瘤の手術だけでいいのか?他の手術もすべきでは?と悩むことがある。そんな時、「(自分にとって)なにが一番大事なのか考えて、それ以外のことは放棄して、ただその一事に励むべし」と徒然草は言う。芭蕉にして「ついに無能無芸にして、ただこの一筋につながる」のだ。

◆ そんな技術屋の僕だから、会議では議論について行けず、いつも浮いている。でも渋沢敬三は、「大事な事は主流にならぬことだ。傍流でよく状況を見ていくことだ。舞台上で主役をつとめていると、多くのものを見落としてしまう。その見落とされたもののの中にこそ大切なものがある。それを(傍流にいて)見つけてゆくことだ」と喝破する。



『人生の実りの言葉』中野孝次著
文春文庫(本体514円+税)

◆ まあ会議の事は忘れて、たまに友と飲みに行く。「両人对酌すれば、山花開く。一杯、一杯、また一杯…」と李白の世界に遊ぶ。調子に乗って次の日は二日酔いで起きれない。でも、李白だって「(酒)一斗にして詠百篇、長安市上酒家に眠る。天子呼び来たるも船に上らず…」と陶淵明が暴露しているのだから、まあいいか。

◆ 数年前までは二日酔いなどならなかったのに…。オイオイ、人はいつまでも若くはないのだから、「養生の道なければ、若く盛んな人も天年を保たずして早世する人多し」(貝原益軒)ということに気づきなさい!

◆ 結局人生なんて楽しいことばかりじゃない。辛いことの方が多。うちひしがれる時だってある。そんな時は広津和郎の「どんなことがあってもめげずに、忍耐強く、執念深く、みだりに悲観もせず楽観もせず、生き通していく精神」を思い出すことにしている。そうすれば、明日もなんとか頑張れる気がする。

*アンソロジー【anthology】:
いろいろな詩人・作家の詩や文を、ある基準で選び集めた本。



趣味
探訪

“がんばる”ことをたのしもう！

川崎幸病院 コメディカル部長 佐藤 政延

「“がんばる”ことをたのしもう！」という言葉は元プロMTB(マウンテンバイク)レーサーであり、現在はMTBのメジャーブランドの一つでもあるスペシャライズド社のアドバイザーとして活躍中の竹谷賢二さんの言葉で、私の気に入りのフレーズです。

私がスポーツとしての自転車に目覚めたのは約2年前、年月の長さの点から見ればまだ入門したばかり、ということになりますが、もともとスポーツが好きだった私ではあっても、かつてこれほどにのめり込んだものはないというのもまた事実です。

そもそも、2008年8月に“ジャイアントエスケープR3”というクロスバイクを購入したことがスタート。おりからの自転車ブームもあり、クロスバイクという種類の自転車を知ったことがきっかけでした。クロスバイクとはロードバイクとマウンテンバイクの長所をうまく取り入れたような自転車ロードバイクのように段差を気にすることなく、マウンテンバイクより軽く早く走ることができるものです。これとあわせて、車道を走るためにヘルメット、グローブを購入、その時からほぼ毎週、一人で出かけては写真を撮ったりしていました。

このクロスバイクは走行距離約1000km、期間にして4ヶ月で次の自転車に主役を譲ることになりました。というのも、この世界では、走れば走るほど、“もっと速くもっと速くへ”という想いが強くなり、そうなるにより本格的なロードバイクが欲しくなり、なんとかこれを手に入れて喜んで乗っていると、“さらに速くさらに速くへ”と気持ちが沸き起こって、またより高性能の新車を手に入れる、という悩ましいサイクルが生まれてきてしまうからです。

私の歴代の自転車を紹介すると、先ほど紹介したクロスバイクの次が、私にとって初のロードバイクとなるラレー社のカールトンFというクロモリフレーム。これはスチール特有の細いフレームが気に入って購入。次はオフロードにも興味を持ち、スペシャライズド社のハードロックというマウ

ンテンバイク。ここでさらに自転車へのボルテージが上がっていき、今年の1月にはスペシャライズド社のルーベというカーボンフレームのロードバイクを購入しました。

実は面白さと興奮で無我夢中になって乗り続けていたためか、持続的な右膝痛を覚えるようになり、自転車はもう諦めることになるのかなと不安に思っていた時期もありましたが、BGFITというフィッシングを知り、これを実践したところ、痛みはほとんど無くなり、楽しく自転車に乗ることが出来るようになりました。BGFITとは「BODY GEOMETRY FIT INTEGRATION TECHNOLOGY」の略で、今までの長さ×数値のフィッシングとは異なり、体の構造や柔軟性を考慮したフィッシング理論を元にしたスペシャライズド社オリジナルのバイクフィッシングシステムです。この時、自己流の走りの限界を感じたことから、技術的な面でも成長していこうと考え、ロードバイクチームに参加することを決意、今年の4月25日には自転車のショップが



愛車「ルーベ」とロードバイクチーム「Y.O.R.」のジャージ

主催するロードバイクチームのメンバーになりました。みなさん、国道などをピチピチのジャージ姿でロードバイク乗って走り抜ける集団を見かけることがあると思いますが、まさにそれがロードバイクチームです。

チームでの初めての走行会ではとても緊張したのを覚えています。コースは横浜市金沢区福浦からみなとみらいまでの往復45km程。行きは坂あり、山手の街並みのアップダウンあり、山下公園前のストレートありとバリエーションが豊富な道走り、帰りは本牧回りでほぼ平坦。国道357号線に入ると各自ペースが上がっていきます。行きは速いペースでもついていけたのですが、帰りは案の定、思い切り離されて最後は足まで攣ってしまう始末。上手く走れずにとてもしばしい思いをしました。これをバネに、それからというもの

週一回は走行会に参加して速い人の後ろについてどうしたら速く走れるのかを研究、さらに集団で安全に走るための手信号もしっかり覚えしました。

走行会を重ねるごとに先頭集団のまま走ることが出来るようになり、6月5日の走行会では、なんとかトップで戻ることが出来ました。先頭を引いてくれていた人からも「ナイスアタックだったね」と言われ、この時の満足感

★最近の走行会の記録

コース	走行距離	走行時間	平均速度	最高速度
5/22 (みなとみらい往復)	45.3km	1 時間 48 分	25.0km/h	47.9km/h
6 / 5 (みなとみらい往復)	46.1km	1 時間 43 分	24.0km/h	48.4km/h
6 / 6 (みなとみらい往復)	45.5km	1 時間 37 分	25.4km/h	47.1km/h
6/12 (江ノ島往復)	50.3km	2 時間 04 分	22.4km/h	47.0km/h
6/20 (みなとみらい往復)	45.7km	1 時間 36 分	26.0km/h	42.9km/h



みなとみらい走行会のひととき

は今までに味わったことがないくらいのものでした。

毎回、走行会の記録はサイクルコンピューターと心拍計を使って記録をとっています。このスポーツは体力の消耗も激しいのですが、走っているときや走った後の爽快感は言葉で表現できないものがあります。今後はまだ参加したことがない長距離走行会への参加、そしてさらに練習を重ねて将来的に何か大きなレースイベントに出場してみたいというのが現在の私の目標です。そしてこれからも自転車をとおして人生、「“がんばる”ことを楽しみたい」と思っています。

Music Salon ミュージックサロン

今回は、さやま総合クリニック「第29回ヘルシーコンサート 大谷 康子 ヴァイオリン・リサイタル」の模様をお伝えします。

大谷 康子 ヴァイオリン・リサイタル

6月12日(土)、さやま総合クリニック 3階ピアノホールで「大谷康子 ヴァイオリン・リサイタル」が開催されました。大谷氏は人気・実力ともに日本を代表するヴァイオリニストであるとともに、石心会がホールのスポンサー（特別協賛会員）を務めるミューザ川崎シンフォニーホールのフランチャイズオーケストラ 東京交響楽団のコンサートマスターでもあります。大谷氏の演奏は美しさと気品、深い情感に溢れ、名曲たちに豊かな命を吹き込んでいきます。会場を埋めた聴衆は心いっぱいこの芳醇な時を味わいました。



- ★ 出演 大谷 康子(ヴァイオリン)
小山 さゆり(ピアノ)
- ★ 曲目 クライスラー: 愛の喜び
ショパン: 幻想即興曲
バッハ: G線上のアリア 他
- ★ 参加 130名



◆ 演奏家プロフィール

大谷 康子

人気・実力ともに日本を代表するヴァイオリニスト。東京芸術大学、同大学院博士課程修了。全日本学生音楽コンクール全国第1位。シェリング来日記念コンクール第2位。1988年、日本のヴァイオリニストで初めて一夜に3曲(メンデルスゾーン、ストレヴィンスキー、ラロ)のヴァイオリン協奏曲を演奏し、大きな話題となる。1990年には、ヨーロッパ4都市(ローマ、ウィーン、ベルリン、ケルン)でリサイタルを開き、好評を得る。全国各地でのリサイタル、スロヴァキアフィル、新日本フィル、大阪フィル、名古屋フィル、九州交響楽団など国内外のオーケストラのソリストを務めるほか、テレビ(「題名のない音楽会」300回以上最多出演)をはじめ多岐にわたるメディアへの出演、さらに室内楽、現代音楽への分野にも力をいれている。コンサートの合間には病院でのボランティア演奏を行うなど、その幅広い活動は

多くのファンからの支持を得ている。1999年、2008年サントリーホール大ホールでのリサイタルも満員の聴衆を魅了し、圧倒的な成功をおさめた。2005年には弦楽四重奏団「クワトロ・ピアチェーリ」を結成。質の高い演奏が注目されている。CDにはソニー等からロングセラー『椿姫ファンタジー』『夢のあとに』、無伴奏作品を集めた『深紅のシャコンヌ』など、昨年『メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲/ラロ: スペイン交響曲』がキングレコードより発売された。この2曲は全音楽譜より自身の校訂版も出版されている。東京交響楽団ソロ・コンサートマスター。東京音楽大学教授。使用楽器は1708年製ピエトロ・グアルネリ。

小山 さゆり

東京芸術大学音楽部付属音楽高等学校を経て同大学ピアノ科卒業。同大学院修士課程修了。第31回全日本学生音楽コンクール全国1位。虎ノ門ホールにて「10代の音楽家」演奏会に出演。東京工業大学でのベヒシュタイン記念演奏会に出演。第9回かながわ音楽コンクール特選。ザルツブルグ、モーツァルティウム音楽院主催アカデミーコンサートに出演。東京工業大学でのベヒシュタイン記念演奏会に学院主催アカデミーコンサートに出演。浜離宮朝日ホールにてリサイタル開催。板橋区演奏家協会会員。現在ソロ、室内楽、声楽、オペラの伴奏を中心とした演奏活動の他、バイオリンの大谷康子氏と伴に東京、福岡をはじめ各地の病院、施設でボランティア演奏を行い、演奏会場に足を運べない人々へ音楽の歓びを届けている。助川陽子、米谷治郎、アンジェイ・ヤシンスキーの各氏に師事。

☆ヘルシーコンサートのいわれ☆

2003年3月、狭山総合クリニックの院長に就任した青山医師(現 副理事長兼狭山地区統括院長)が、クリニックを診療の場としてだけでなく、地域の人たちの文化的な交流の場にしたいと考え、私財でピアノを購入して提供するとともに、毎週土曜日の午後からピアノ演奏を主体にした「ヘルシーコンサート」を開催することを決めました。ホームページにも紹介していますが、このピアノは世界最高峰といわれる「スタインウェイ アンド サンズ」のコンサート用グランドピアノで、2000年のショパンコンクールで圧倒的な実力で一位優勝した中国のピアニスト ユンディ・リ が練習用に愛用したものです。



石心会グループの活動 (2010年4月～6月)

川崎幸病院

- 4月 3日 川崎幸クリニック合同新入職員オリエンテーション 味の素健保会館
- 4月28日 新入職員歓迎会(川崎幸病院/中原分院/川崎幸クリニック合同) 川崎日航ホテル
- 5月 1日 (看護部) ケースレポート発表会
- 5月12日 看護師復職支援セミナー開催 参加者 3名
- 5月14日 山本晋大動脈センター長がテレビ朝日『報道ステーション』の特集で紹介される
- 6月14日 院内グループウェア始動開始
- 6月18日 資格取得者お祝い会 (対象者 42名)
- 出張講演
4月12日 蒲田法人会主催『脳卒中について』大田区産業プラザ
講師: 脳外科部長 / 岩井 良成 参加者70名
- 5月18日 川崎市看護協会主催 看護の地域医療連携推進と診療報酬週改訂研修会
『診療報酬と地域連携』 講師: 地域連携担当副院長 / 関川 浩司
- 6月26日 桜本二丁目町内会主催『胃がん、大腸がんはなぜできる?』桜本二丁目町内会館
講師: 消化器内科副部長 / 大前 芳男 参加者40名
- 救急隊勉強会(市内、鶴見の救急隊員が参加されました)
6月23日・30日 『下部消化管急性腹症について』 講師: 外科医長 / 河原 祐一
- 院内勉強会
6月 7日・15日 医療安全対策委員会主催セミナー『知っていてあたりまえ! 知っていてよかった! 院内ルールと法律』

川崎幸病院 中原分院

- うるおいコンサート
4月24日 第16回うるおいコンサート 合唱: ぜろさん合唱団
- 5月22日 第17回うるおいコンサート 演奏: 洗足学園音楽大学堀越ゼミ
- 6月12日 第18回うるおいコンサート 演奏: 東京フィルハーモニー交響楽団 / 長澤 菜若、大内 麻央さん
- 公開講座
4月17日 「胃癌や潰瘍はなぜできる」
講師: 川崎幸病院消化器内科 副部長 / 大前 芳男 参加者59名
- 5月 8日 「『脱腸: そけいヘルニア』ってなに? ～『そけいヘルニア』の最新の治療法～」
講師: 川崎幸病院外科 副部長 / 北村 雅也 参加者38名
- 6月26日 「前立腺癌～早期発見が可能です～」
講師: 川崎幸病院中原分院泌尿器科 院長 / 林 哲夫 参加者45名
- 院内勉強会
4月 8日 「結核対策」 講師: ファイザー株式会社
- 5月25日、6月10日 「脂質異常」 講師: ファイザー株式会社
- 6月22日・29日 「配合変化について」 講師: 大塚製薬株式会社

狭山病院

- 4月 1日 平成22年度診療報酬改定に伴う施設基準届出(20項目)
- 4月 3日・5日 狭山地区事業所新入職員オリエンテーション 参加者 64名
- 4月23日 看護師復職支援セミナー(狭山病院) 参加者 1名
- 5月 9日～15日 ふれあい看護週間 ※ふれあい看護体験に15名が参加
- 5月18日 看護師復職支援セミナー(狭山病院) 参加者 1名
- 5月23日 新入職員歓迎バーベキュー大会雨天中止 参加予定数 294名
- 6月 1日～2日 平成22年度チャレンジシート発表会
狭山地区事業所の診療部を除く各部門の責任者が平成22年度の目標を発表
- 6月15日 看護師復職支援セミナー(狭山病院) 参加者6名
- 6月21日～26日 狭山地区事業所定期健康診断(川崎健診クリニック巡回検診車利用) 受健者 841名(受健率99.4%)
- 6月29日・30日 献血(埼玉県赤十字血液センター主催) 2日間で143名の方が協力し、内116名が献血実施しました
- 院内勉強会
5月14日 『褥瘡を学ぼう～デザイン評価～』 参加者 61名
- 5月18日 『がん診療の進歩(1回目) ① 癌とは何か? ② 胃癌診療update』 参加者 151名
- 5月25日・26日、6月3日・7日 『インシデント・アクシデント危険レベル勉強会』 参加者合計 348名
- 5月27日 『薬剤勉強会 ① イメンドカプセル ② タイケルプ錠』 参加者 30名
- 5月28日 『より美しい医療従事者になろう～場面(T.P.O)にあったメイク術を学ぶ』 参加者 48名
- 6月15日 『がん診療の進歩(2回目) 肝癌診療 update』 参加者 94名
- 6月29日 『医療安全の基礎』 参加者 35名
- 地域医療連携・公開カンファレンス
4月 9日 『2010年度診療報酬改定セミナー』
講師: さやま総合クリニック 患者サービス課 係長 / 内藤 博之 参加者106名
- 5月21日 『リウマチの最新治療と病診連携～地域医療ネットワークの果たす役割～』
講師: あずまりウマチ・内科クリニック 院長 / 東 孝典 参加者107名
- 6月30日 『乳癌治療の最前線』 講師: 虎の門病院 乳腺・内分泌外科 部長 / 三浦 大周 参加者90名



石心会グループの活動 (2010年4月～6月)

川崎幸クリニック	● 糖尿病講座 4月 3日 参加 3名 6月 2日 参加11名 ● 糖尿病公開講座 6月30日 「薬についてのお話」 講師:薬剤師 / 勝亦 秀樹 参加14名 ● 気功教室 講師:臨床心理士 / 稲富 正治 4月21日 参加 6名 5月26日 参加 7名 6月29日 参加 9名 ● 心理相談室公開講座 5月20日 「不登校を考えよう」 参加 5名 6月17日 「アスペルガー症候群を知ろう」 参加 6名
さやま総合クリニック	● 糖尿病教室 4月 1日 「糖尿病の疑問を解決!」 講師:内科医師 副部長 / 三好 洋二 参加者 15名 5月 6日 「ダイエット・めざせ!適正体重!」 講師:管理栄養士 / 森 順子 参加者 15名 6月 3日 「糖尿病のくすりについて」 講師:薬剤士(糖尿病療養指導士) / 小倉 弥生 参加者 10名 ● 健康教室 5月22日 「ガンにかかりにくい食事」 講師:管理栄養士 副部長 / 大川 清 参加者 10名
川崎クリニック	● 4月 6日 「オンラインHDF」に関する院内勉強会 参加者25名 ● 5月18日 肺炎球菌勉強会 参加者25名 ● 5月25日 シャント勉強会 参加者27名 ● 6月18日～20日 第55回透析医学会 学術集会・総会 医師:2名 看護師:3名 臨床工学士:1名 事務:1名 参加 演題発表 「インシデントレポート提出率増加への取り組み」 発表者 / 竹村 史子
さいわい鹿島田 クリニック	● 4月 1日 火木土 夜間透析開始 ● 4月 7日 水曜日午後 循環器内科 担当:津田 泰任(川崎幸病院)外来開始 ● 4月18日 緊急連絡網運用テスト 職員全員参加 ● 待合室に掲示板設置 川崎幸病院からの医師の紹介等 掲示 ● 5月12日 水曜日午前 外科外来開始 1・3・5週 担当:高橋 保正 2・4週 担当:太田 竜(川崎幸病院) ● 5月12日 透析看護科 ふりかえり発表会 参加者 約20名 ● 乳腺症例カンファレンス 5月より1回／月開始 参加者 約7名 ● 5月18日 診療報酬勉強会 岡本事務長 笠間課長 参加者 約40名
さやま腎クリニック	● 5月30日 泉会(患者会)行事 八国山緑地散策 職員参加者 13名 ● 学会・研究会 4月2～4日 第26回日本医工学治療学会(東京都千代田区) 参加者 3名 6月12日 埼玉西部透析医学会(かわごえクリニック) 参加者 4名 6月18日～20日 日本透析医学会(兵庫県神戸市) 参加者 7名 発表「高齢透析患者家族に関する看護師の意識調査」 ～外来看護師と病棟看護師の意識の違いに着目して～ 看護師 / 斎藤 理恵 ● 院内勉強会 6月 9日 「I HD(間歇補液透析)勉強会」 講師:(株)ジェイ・エム・エス 参加者 25名 6月11日 「2010年診療報酬改定について」 ～人工透析がうける影響～ 講師:事務課 / 戸田 今日子 参加者 30名
昭島腎クリニック	● 院内勉強会 4月22日 糖尿病とインスリン製剤について 講師:ノボノルディスクファーマ 参加者 28名 5月13日 下肢ムズムズ症候群と治療 講師:日本ペイリンガーインゲルハイム 参加者 34名 5月28日 糖尿病ケア製品の正しい使用方法 講師:テルモ株式会社 参加者28名 6月24日 当院に於けるエンドトキシン濃度測定 講師:昭島腎クリニック 透析技術課 / 加藤 彰則 参加者 30名 当院での通院支援の実態と今後の課題 講師:昭島腎クリニック 事務課長 / 齊藤 まさ子 参加者 30名 ● 透析患者勉強会 5月23日 『透析食調理実習』 講師:昭島腎クリニック 栄養科 / 荒井 昭治 参加者 患者家族 21名 職員 12名 ● 研究会 6月27日 第59回『三多摩腎疾患治療医会研究会』 杏林大学講堂 当院に於けるエンドトキシン濃度測定 発表:昭島腎クリニック 透析技術課 / 加藤 尚孝

アルファメディック・クリニック	● 5月13日 防災管理新規講習課程 修了 1名 川崎市消防局 ● 5月12・19日 「スタッフのための接遇マナー講習会」神奈川県保険医協会 参加者 4名 ● 6月4日 院内勉強会開催(川崎健診クリニック合同)「推測統計学～実験計画法～」 講師:加藤 洋 先生 参加者 26名 ● 6月16日 共同防火防災管理協議会 出席 1名 ● 6月18日 第2回健診実施機関意見交換会 幹事施設 全国保健協会神奈川支部 出席者 全国保健協会神奈川支部 2名 健診実施機関 16施設 ● 6月25日 日本人間ドック健診協会平成22年度通常総会研修会 参加者 2名
川崎健診クリニック	● 4月22日 スタッフのための接遇マナー 藤沢産業センター 参加者1名 ● 4月23日 平成22年度診療報酬改定(医科)関東信越厚生局 / 相模原 参加者1名 ● 4月25日 平成22年度診療報酬改定(医科)神奈川県保険医協会 / 鶴見 参加者1名 ● 5月12日 スタッフのための接遇マナー 中原市民会館 参加者1名 ● 5月13日 スタッフのための接遇マナー 相模原南メディカルセンター 参加者1名 ● 5月13日 スタッフのための接遇マナー 三島カルチャー貸し教室 参加者1名 ● 5月19日 スタッフのための接遇マナー 神奈川県保険医協会 参加者1名 ● 院内勉強会 6月 4日 教育委員会主催『推測統計学 ～実験計画法～』講師:首都大学東京健康福祉学部 放射線科 / 加藤 洋
新緑会脳神経外科	● 院内勉強会開催 6月23日 講演1『造影剤と副作用について』 講師:富士製薬工業 薬剤師 / 白井 みお) 講演2『薬局の役割について』 講師:市沢薬局 薬剤師 / 河村 直己) 講演3『インシデント報告と対策について』 講師:院長 / 横田 尚樹 参加者 43名
立川新緑クリニック	● 6月29日 訪問診療開始
立川介護老人保健施設 わかば	● 勉強会【施設内】 4月28日 肺炎球菌ワクチンについて 講師:萬有製薬 参加者31名 5月26日 接遇マナー研修報告 講師:介護課長 参加者20名 6月23日 介護保険について 講師:事務課長 食中毒について 講師:管理栄養士 参加者24名 ● 行事 5月30日 家族懇談会 参加者 30名 6月18日 ボランティア交流会 参加者 12名
立川市北東部わかば 地域包括支援センター	● 地域活動 4月17日・23日、5月14、6月25日 男の料理教室 若葉会館、幸学習館 参加者 延65名 4月12日 「医療を受けながら家で暮らし続けるには」シンポジウム 柴崎学習館 参加者 44名 4月21日 見守りネットワーク連絡会 立川市社会福祉協議会 参加者 14名 5月31日 若葉町の移動問題を考える幹事会 包括支援センター 参加者 5名 6月27日 認知症サポーター養成講座 緑が岡ハイソ自治会 老健わかば 参加者 45名 幸福社会館 参加者 45名
特別養護老人ホーム オリーブ	● 4月 7日 歌と踊り、大道芸の披露 マーガレットの会 6名 参加者52名 ● 5月 3日～5日 菖蒲湯による入浴日 オリーブ浴室 60名が体験 ● 5月12日～6月15日 埼玉福祉専門学校 社会福祉実習受入 1名 ● 6月11日 普通救急救命講習実施 オリーブフロア 職員参加者15名 ● 6月29日 普通救急救命講習実施 オリーブフロア 職員参加者11名 ● 6月25日 幼稚園児との交流 あおば幼稚園園児 35名 ● 6月25日 歌と大正琴合奏会 美咲会 演者3名 参加者 53名
狭山市入間川・入間川 東地域包括支援センター	● 地域活動 4月5日、5月6日、6月7日 入間川地区民生委員、入間川東地区民生委員との定例情報交換会 狭山市社会福祉会館 参加者延76名 4月 4日 『虹のかけはし』 花見稻荷山公園 参加者30名 4月16日、5月7日 『鶺鴒ノ木ふれあいサロン』 鶺鴒ノ木自治会館 参加者延23名 5月20日 『交通安全教室』 田中公民館 参加者35名 ● 6月10日、6月23日 『介護予防イベント』 下諏訪自治会館 上諏訪コミュニティーセンター 参加者延51名 ● 6月11日 『認知症予防講座』 上諏訪コミュニティーセンター 参加者12名 ● 6月17日 平成22年度 第1回『日常生活圏域会議』 地域ケアセンター会議室 参加者26名